

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	主査	担当	担当							文書取扱主任		

第 17 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 24 年 9 月 20 日 (木曜日)	開会 14 時 40 分	閉会 15 時 05 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	山口、山本、坂井、小野、三上、窪之内	事務局	菊井次長
	議長、委員外～渡邊、木下、井上		原田主事
欠席委員			
説明員	別紙のとおり	議件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 平成 24 年度滝川市観光大使横綱白鵬関秋の来市事業について		
	2. その他について		
	なし。		
	3. 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
上記記載のとおり相違ない。 経済建設常任委員長 山口清悦 ㊦			

平成24年9月20日

滝川市議会議長 水口典一様

滝川市長 前田康吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成24年9月20日付け滝議第70号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

経済部長

経済部商業観光課長

経済部商業観光課副主幹

五十嵐 千夏雄

浦川 学央

柳 圭史

(総務部総務課総務グループ)

第17回 経済建設常任委員会

H24. 9. 20(木)本会議終了後
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《経済部》

（1）平成24年度滝川市観光大使横綱白鵬関秋の来市事業について（資料）商業観光課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第17回 経済建設常任委員会

H24.9.20 (木)本会議終了後
第一委員会室

開 会 14:40

委員 長 それでは第17回経済建設常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員 長 まず委員動静ですが、委員全員出席です。議長並びに委員外議員として井上議員、渡邊龍之議員、木下議員の出席を許可いたします。傍聴として北海道新聞の入室を許可いたします。大変お疲れのところ恐れ入りますが白鵬関の日程が決まりましたので、皆さんにご報告したいと思えます。

1. 所管からの報告事項について

委員 長 それでは、所管からの報告事項について説明を求めます。

(1) 平成24年度滝川市観光大使横綱白鵬関秋の来市事業について

五十嵐部長 本日は本会議終了後お疲れのところ急遽委員会を開催させていただきましてまことに申しわけありません。白鵬関の来道につきましては日にちが決まるのもちよっとおくれまして、さらに二日間の概要もやっと先日決まった次第で、前回の経済建設常任委員会ของときにはご報告できないという状況でございました。まことに申しわけありませんが、本日概要をご説明させていただきますのでご意見を賜れば幸いと思っております。よろしくお願ひいたします。

(別紙資料に基づき説明する。)

柳副主幹
委員 長
窪之内

説明が終わりました。それでは、質疑ございますか。

滝川のシェフというのは何名で誰なのかお伺いしたいのと、そのシェフの旅費等については今回の財源の中でやっていくということだと思うのですが、その辺についてと、議員のかかわり方で、向こうの人たちが対象だから特に議員がチケットを買ってそっちに参加するということは考えていない。周辺の人たち、札幌近郊の人たちにPRするのが目的だということでそういったチケット販売をやっているのかどうかについてお伺いします。

柳副主幹

今考えている、交渉しているシェフの方ですけども、滝川の特産品としてお肉3種類ございます。SPF豚だとか、アイガモ、それから羊ということで、羊に関しては今ラ・ペコラさんに羊の料理ということでシュウパウロウでどうかということでお話させていただいているのと、それからアイガモについてはホテルスエヒロさんで合鴨井というのを提供されてますので、スエヒロのシェフの方ということでお願いしています。それから、SPF豚についてはボン・ビヴァンさんでSPF豚と白鵬米を使ったパエリアを考えていただけないかということでお話しをしているのと、三浦華園さんでは宮城野部屋直伝の塩バターちゃんこというのが既にお店のほうに出されてますので、それは出さないとだめだなということで一応その4品を考えてございます。それからそのシェフの方の旅費と食材に係る部分については白鵬プロジェクトの中で充てようという考えでございます。それからチケットについてですけども、対象としてはここで記載していますとおり札幌市民を広くというのは当然あるのですが、やはり滝川市の食材が出ているということで、滝川市内でも当然チケットの販売についてはPRもさせていただきたいと思っておりますし、できればバスもチャーターしてみんなでそこに行くようなことも考えているところで、ぜひ議

員の皆さんにもご協力いただきたいと思っていますところでございます。

窪之内 バスのチャーター代もプロジェクトの中のお金として組んでいるのか、参加者がバス代を払うということなのかということ、物産ブースにはどんなものを特に並べようとしているのか、その辺もトラックとか何かで運ばなければならぬのかなと思うので、その辺のことと、さっきのシェフで気になったのは、当然この肉は主だけれども滝川産の野菜を使うってことが前提になっているのだと、それで野菜のシェフがいないなと思ったのですけれども、そこは大丈夫なのかどうかお伺いします。

柳副主幹 まずバスについては今市の中型バスとか、そっちをまず前提に考えて、ちょっと人数がふえれば当然参加する方に料金はいただかないような形で行いたいと思いますが、まずは市のバスのほうで対応しようと思っています。それから物産ブースについては地産地消認定店の中で物産販売を行っている方、業者の方がいらっしゃいますので、そちらのほうを中心に声をかけさせていただきたいと思っています。ただ500人の中での販売ですのでいろいろ条件面とかちょっと検討中でございますけれども、なるべく出やすい形でということは考えています。それから、野菜に関してですけれども実際パークホテルの中の料理も野菜を使っていますし、それから合鴨井だとか塩バターちゃんこだとかソエリアだとか、それも当然秋の野菜をふんだんに入れていただくということでシェフの方にもお願いしているところでございまして、全く野菜は入らないということではないので、プラス肉というような感じで行いたいと思います。

窪之内 その地産地消の認定店からは物だけなのか、本人にも参加してきてもらうというのか、物産の販売にかかる、販売員やなんかのことはどうなっているのか、その出展者の人たちはプロジェクトのお金で旅費等を用意されているのかどうか伺います。

柳副主幹 物産ブースの販売員については、プログラムの中でも横綱と物産を売られている方との対話もしたいなと思っておりまして、来られる方はできるだけ来ていただきたいという願いはしようと思うのですが、人数が足りなければ市の職員とかも入って販売のお手伝いをしようと思っています。かかる旅費等についてはちょっと今条件面の検討で、全体の積算の中で考えたいと思うのですが、基本的には負担がかからないような形にしたいなと思っております。

委員長 ほかに質疑ありますか。

坂井 窪之内委員の質疑にも一部絡むところなのですが、まずこの500人という規模なのですが、今からこういう企画を始めてまず500人が本当に集まるのかどうか。白鵬に観光大使になっていただいた本来の目的というのは滝川市外の人に向けて滝川市をPRしてもらうということではなかったかというふうに思うので、滝川市内の方をバスで運ぶっていうのもないとは言えないと思うのですが、まずは札幌中心とした周辺の方々に積極的にPRしてこういったチケットを販売して、余った分に関しては滝川で、滝川の人を呼び込むというようなことをしたほうがいいのかという私の考えがあるのですけれども、それとその5,000円を本当に一般市民の方が払って来てくれるのかという私個人的な懸念もまずあります。その辺についてお伺いしたいのが1点と、500人もし来なかった場合、500人の5,000円ですから250万円ですね、これを見込んでいると思うのですが、もしそこに至らなかった場合はこれは市の負担となるのかどうか。それともう一点、白鵬が今回北海道に来られるときに白鵬を利用した滝

川のPRというのは今回ここだけなのかどうか、ほかで行うことはないのかどうかをお伺いいたします。

五十嵐部長

まず500人規模の関係ですけれども、会場の関係で500人を目標にして対応するというのでございます。それで販売につきましては先ほど主催、協力の中でさっぽろ滝川会ということも説明しましたけれども、札幌にいらっしゃる滝川関係者の方、あるいは道庁に滝川に関わりのある方々もいらっしゃいますし、そういったところを中心に販売をしようというふうに考えております。札幌での券販売につきましてはシービーツアーズさんに引き受けていただくということで今決まっておりますし、あるいはチケット販売所みたいなところ、そういったところともちょっと連絡を取り合って手数料の関係を聞いてみて、任せてもよければお願いするというようなことで、販売につきましてはそういった滝川にかかわりのある方を中心に販売したいと、さっぽろ滝川会の会員さんの企業に売っていただくとかですね、そういったところで対応したいというふうに考えております。また、滝川での会券の販売なのですけれども、私どもの考え方としましては、やはりこれは札幌にお住まいの方々を中心に販売はしますけれども、滝川からは滝川の応援団的なことを想定しております。その会場で滝川の物を味わっていただいて、その周りの方に滝川の食材のよさを話していただきたいと、広めていただきたいという思いもありまして、白鵬プロジェクト関係者あるいは議員の皆様、そういった関係していただける団体の皆様を中心に販売をしてご協力いただきたいというふうに考えております。それと5,000円という値段の関係も出ましたけれども、私どもは横綱白鵬関と一緒に滝川の食材を味わうという設定ですから、札幌には相撲関係者もいらっしゃると思いますし、あるいはちびっこ相撲の関係者の方もいらっしゃいますし、あるいは単純に横綱白鵬関と一緒に食事をしたいという方もいらっしゃると思いますし、その中では5,000円は決して高くはないと思っておりますし、シービーツアーズの戎谷社長とも協議しながら札幌での価格ということで5,000円ということで設定をさせていただきました。それと収支の関係でございますけれども、これは事業としては白鵬プロジェクト実行委員会の主催ということで実施をし、その中でも年間予算というものがありますけれども、その中で対応したいというふうに考えておまして、500枚売れなければペイしないということでもございませんので、提供する食材等につきましても1人5,000円の500人分という発注ではなく、その辺は臨機応変に考えておりますので、この予算の中でできるという前提で今準備を進めているところでございます。

浦川課長

坂 井

この10月に横綱が北海道にいらっしゃる時の市外におけるPRは16日の札幌だけとなっております。17日は市内で市民交流事業を予定しております。今の部長のお答えでどうも関係者といたしますか、チケットの売り先がさっぽろ滝川会の方ですかそこを中心とした会社とかってというような販売ルートが中心じゃないかというふうに僕は聞こえたのですけれども、そうするとやはり先ほど僕が言ったような滝川の観光大使っていうのは滝川以外の人たちに滝川のものを広めてもらうためのものであるというふうに私は思っているものですから、そうなるとうやはり広がりがないのかなと思うのです。実際私の知り合いも札幌に多くいるのですけれども、いろいろ話をしたときにやはり白鵬イコール滝川の観光大使ということを初めて聞いたというような声を多々聞いてたものですから、やはり滝川のよさということをもっと関係のないところと言います

か、広めて、滝川のいいところを知らしめるにはここが本当にいい機会だと思うので、そういったことも含めて検討していただけたらと思います。答弁は結構です。以上です。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

2. その他について

委員長

2、その他について事務局から何かございますか。

(なしの声あり)

委員長

委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声あり)

3. 次回委員会の日程について

委員長

3、次回委員会の日程については、正副委員長にご一任願えますか。

(異議なしの声あり)

委員長

以上をもちまして第17回経済建設常任委員会を閉会いたします。
お疲れ様でした。

閉 会 15:05